

奥能登原木しいたけ 「のとてまり」・「のと115」だより

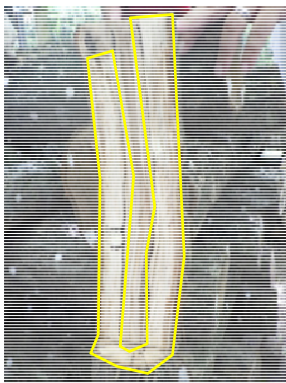
令和3年度第3号
(通巻24号)
令和3年8月2日発行

<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県農林総合研究センター

ほだ木診断の結果、暑さ対策が必要 引き続き、直射日光を避け、風通し良く！！

7月21日から7月30日にかけての耕稼塾のとてまりコースや、各JAの栽培講習会において、生産者のほだ場を巡回し、原木内部の菌の伸長状況を診断しました。適切な管理を行っているほだ場では、菌がよく回っていました。しかし標高、西日の当たり方などほだ場の場所によって、ほだ木の状況は違います。再度、下記について確認し、**遮光シートなどで直射日光を避け、草刈りやほだ木の組み直しにより、風通しを良くすることを心がけましょう！**

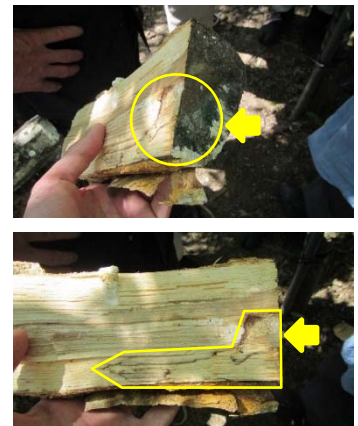
平年より9日早く7月14日に梅雨が明け、その後、小雨、高温が続いています。ほだ木の管理が不適切だと、原木内のしいたけ菌が死に絶え、その後にクロコブタケなどの**害菌が発生します。しいたけ菌にとって快適な環境を保ち、異常が発生していないか定期的にほだ木を確認しましょう。**



順調に生育している例
種菌から原木中に
均一に伸びている。



生育の良くない例
原木内の水分が抜けていないため
菌糸が伸長できない。



生育の良くない例
トリコデルマによる被害



被陰用の遮光シートが直に原木に被せてあるため、日光により高温になります。



西側は遮光シート張り出しを長くしたり、側面に支柱を立てたり、原木との間に1m程度の隙間を空け直接触れないようにしましょう！

ほだ場の環境については、
・風通しが良い
・直射日光なし
・水はけが良い
の3点を守ってください。

ご自分のほだ場、ほだ木のご確認にあたっては、別紙の**セルフチェックシート**をご活用ください。また、7月21日開催「いしかわ耕稼塾のとてまりコース」の一部の様様を**YouTube(限定公開)**でご覧になれます。農林総合研究センター能登駐在の八島研究員と日本きのセンター北陸駐在の梶川係長が、**原木しいたけ栽培の基本をわかりやすく講義**されています。別紙のQRコードでは是非ご覧ください！